

1 基本項目	事務事業名	図書館資料収集保存提供事業			担当 部署 署	課名	図書館	
	予算事業名	資料収集保存事業				係名	図書係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-22-0462	
	事業期間	開始年度	平成10年度	終了年度		当面継続	会計	一般会計
	総合計画 目標名	基本目標 4 人と文化を育むまち				科目	款	教育費
	政策名	10 明日を担う人づくり				項	社会教育費	
	施策名	31 生涯学習の推進				目	図書館費	
基本事業名	31-1 学び続ける環境づくり			アウトソーシング導入状況	導入予定なし			
根拠法令	図書館法第3条第1項第1号～第4号			総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、図書、雑誌、新聞、参考図書、視聴覚資料、郷土資料など資料を選び、収集、保存、管理し市民や利用者提供する。
	対象	市民及び図書館利用者
	手段 (活動指標)	新刊の図書・雑誌・郷土資料等を購入するとともに、リサイクル資料の積極的な受入や相互貸借等により、より多くの資料を提供する。
	意図 (成果指標)	市民の図書館の利用及び本への親しみが增加する。

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動 指標 成果 指標	① 市民	人	44,490	43,555	44,178	43,152	97.7%	43,865
	② 図書館利用登録者数	人	23,500	24,258	25,000	25,384	101.5%	26,000
	③ 蔵書数	冊	250,000	252,522	255,000	260,082	102.0%	265,000
	① 入館者数	人	245,000	217,549	225,000	213,923	95.1%	225,000
	② 貸出冊数(個人)	冊	340,000	310,767	325,000	298,269	91.8%	300,000
	③ 貸出者数(個人)	人	77,000	72,515	75,000	69,441	92.6%	73,000

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出 内訳	① 需用費	円	1,483,000	1,360,797	1,588,000	1,458,341	7.2%	1,606,000
	② 委託料	円	1,019,000	784,637	946,000	742,085	-5.4%	912,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	12,191,000	12,190,299	11,977,496	11,976,771	-1.8%	11,941,000
	支出合計(A)	円	14,693,000	14,335,733	14,511,496	14,177,197	-1.1%	14,459,000
財源 内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円	280,000	260,502	120,000	4,483	-98.3%	10,000
	⑤ 一般財源	円	14,413,000	14,075,231	14,401,496	14,172,714	0.7%	14,449,000
	収入合計	円	14,693,000	14,335,733	14,521,496	14,177,197	-1.1%	14,459,000
人件 費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	5	0.0%	5
	② 年間所要時間	時間	3,800	3,200	2,800	2,800	-12.5%	2,800
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	15,960,000	13,440,000	11,760,000	11,760,000	-12.5%	11,760,000
	総費用(A+B)	円	30,653,000	27,775,733	26,271,496	25,937,197	-6.6%	26,219,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	図書、雑誌、新聞、視聴覚資料、郷土資料などの収集、保存、管理を行い、市民や利用者へ提供した。また、資料の照会や本の相談(レファレンス)に対応するとともに、他館との資料の相互貸借を行った。	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため
対象の妥当性					1 妥当である	図書館を利用する人を対象としているため
有効性	有効性	B	B	目標達成度	2 目標どおり	成果値が概ね目標値に近い
				類似事業の有無	1 なし	他の部局で同じ事業は無い
				上位施策への貢献度	2 普通	直接的な貢献度は高くないものの図書館の主要な事業であり、図書館法に明記されているため
効率性	効率性	B	B	コスト効率	2 普通	最低限のコストで運営しているため
				実施主体の適正化	1 適正である	民間委託になじまないため
				負担割合の適正化	1 適正である	資料は市の財産であるため
	1次評価 (課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要
	後(課題及び今後の方針)評価結果	開館日数が15日増加したにもかかわらず、図書館の利用者減に伴い、貸出冊数も減少している。郷土資料の充実と魚津市立図書館の特徴を生かした資料の収集を行いたい。			評価結果	

1 基本項目	事務事業名	図書館教養・普及事業			担当 部署 署	課名	図書館	
	予算事業名	教養・普及事業				係名	図書係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-22-0462	
	事業期間	開始年度	平成17年度	終了年度		当面維持	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4 人と文化を育むまち			科目	教育費	
	画	政策名	10 明日を担う人づくり			項目	社会教育費	
	根	施策名	31 生涯学習の推進			目	図書館費	
	基本事業名	31-1 学び続ける環境づくり			アウトソーシング導入状況	導入予定なし		
	根拠法令	図書館法第3条第1項第6号			総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	図書館教室（古文書解説会・読書会など）や歴史講座・お話し会・お楽しみ会・シネマ倶楽部などの開催
	対象	市民及びその事業に興味を持って参加される市民以外の方
	手段 (活動指標)	図書館映画上映事業、歴史講座、おはなし会、子ども向けお楽しみ会、おはなし玉手箱、図書館教室(古文書解説会、草かなで読む読書会、魚津読書会、時事英語を読む会、川柳教室)、おりがみ教室、図書館コンサート
	意 (成果指標)	図書館の資料や設備を利用して、多くの市民が生涯学習の意欲や楽しみを持つことができる。

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動 指標 成果 指標	① 図書館教室開講数	件	65	63	65	53	81.5%	50
	② おはなし会開催数	件	60	62	60	61	101.7%	60
	③ 各種集会回数	件	40	42	40	26	65.0%	40
	① 図書館教室参加人数	人	750	786	750	550	73.3%	300
	② おはなし会参加人数	人	1,500	1,037	1,500	1,243	82.9%	1,250
	③ 各種集会参加人数	人	1,400	1,437	1,500	1,267	84.5%	1,500

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出 内訳	① 需用費	円	205,000	203,324	447,000	415,647	104.4%	143,000
	② 委託料	円						
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円	1,000	1,000	1,000	1,000	0.0%	1,000
	⑤ その他	円	64,000	36,154	67,000	33,054	-8.6%	99,000
	支出合計 (A)	円	270,000	240,478	515,000	449,701	87.0%	243,000
財源 内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他 (使用料、雑入等)	円	30,000	40,300	330,000	7,040	-82.5%	10,000
	⑤ 一般財源	円	240,000	200,178	205,000	442,661	121.1%	233,000
	収入合計	円	270,000	240,478	535,000	449,701	87.0%	243,000
人件 費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	5	0.0%	5
	② 年間所要時間	時間	2,500	3,000	3,000	3,000	0.0%	3,000
	③ 人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	10,500,000	12,600,000	12,600,000	12,600,000	0.0%	12,600,000
	総費用 (A+B)	円	10,770,000	12,840,478	13,115,000	13,049,701	1.6%	12,843,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	図書館教室（古文書解説会・読書会など）や歴史講座、お話し会、おりがみ教室、お楽しみ会、シネマ倶楽部などを開催した。開館10周年事業に関連した、多彩なイベント（大人のためのおはなし会、図書館写真教室、川柳教室発表会、福引き大会など）を実施した。	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため
対象の妥当性					1 妥当である	図書館を利用する人を対象としているため
有効性	有効性	B	B	目標達成度	2 目標どおり	成果値が概ね目標値に近い
				類似事業の有無	1 なし	他の部局で同じ事業は無い
				上位施策への貢献度	2 普通	直接的な貢献度は高くないものの図書館の利用を促進し生涯学習の推進につなげるためには必要な事業であり、図書館法に明記されているため
効率性	効率性	B	B	コスト効率	2 普通	最低限のコストで運用しているため
				実施主体の適正化	1 適正である	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与する事業であり、民間委託になじまないため
				負担割合の適正化	1 適正である	事業によっては教材費を徴収しているため
	1次評価 (課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要
	後 (課題 及び 結果)	蔵書を生かしたイベントを行うことで、書籍の貸し出しを増やしていきたい。			評価 結果	

1 基本項目	事務事業名	図書館市史刊行・普及事業			担当 部署 署	課名	図書館	
	予算事業名	市史刊行・普及事業				係名	市史編纂室	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-22-0462	
	事業期間	開始年度	平成25年度	終了年度		平成30年度	会計	一般会計
	総合計画 目標名	基本目標 4 人と文化を育むまち				科目	教育費	
	政策名	11 豊かな心を育む文化とスポーツの振興				項目	社会教育費	
	施策名	33 文化の振興				目	市史編纂費	
基本事業名	33-2 地域の歴史や文化の保存・継承			アウトソーシング導入状況	導入予定なし			
根拠法令				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	市史自然編の編纂、刊行
	対象	市民及び魚津の自然に関心がある市民以外の方。魚津市の自然。
	手段 (活動指標)	①原稿の進捗状況 ②市史編纂委員会の開催
	意図 (成果指標)	市史自然編を通して、市民の魚津の自然に対する関心が高まると共に魚津の自然に誇りを持つようになる。

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動 指標 成果 指標	① 原稿依頼数	件	0	0	0	0		100
	② 市史編纂委員会の開催回数	回	0	0	2	2	100.0%	3
	③							
	① 原稿回収率	%	0	0	0	0		50
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出 内訳	①需用費	円	143,000	98,096	113,000	103,827	5.8%	111,000
	②委託料	円	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	0.0%	2,500,000
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円			4,000			8,000
	⑤その他	円	308,000	225,942	511,000	505,127	123.6%	809,000
	支出合計 (A)	円	2,951,000	2,824,038	3,128,000	3,108,954	10.1%	3,428,000
財源 内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他 (使用料、雑入等)	円	140,000	55,545	70,000	49,500	-10.9%	35,000
	⑤一般財源	円	2,811,000	2,768,493	3,093,000	3,059,454	10.5%	3,393,000
	収入合計	円	2,951,000	2,824,038	3,163,000	3,108,954	10.1%	3,428,000
人件 費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	2	1	-66.7%	2
	②年間所要時間	時間	200	200	200	200	0.0%	1,800
	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	840,000	840,000	840,000	840,000	0.0%	7,560,000
	総費用 (A+B)	円	3,791,000	3,664,038	3,968,000	3,948,954	7.8%	10,988,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	市史編纂委員会編纂委員を新たに委嘱し、市史編纂委員会を2回開催した。その中で、大筋のスケジュールや掲載内容等について検討した。	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	【選択してください】	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	市史は、研究者の自己責任で書いた書籍と異なり、内容に公共性が求められるため。	
目的の妥当性				1 妥当である	市民の教育、学術及び文化に寄与するため。		
対象の妥当性				1 妥当である	魚津市民や魚津市の自然に関心のある方、そして魚津市の自然そのものを対象にしているため。		
有効性	【選択してください】	B	目標達成度	2 目標どおり	計画通りに進んでいる。		
			類似事業の有無	1 なし	他の部局で同様の事業はない。		
			上位施策への貢献度	2 普通	高くも低くもない。		
効率性	【選択してください】	A	コスト効率	1 高い	作業の多くを市職員で対応しているため、コスト効率は高い。		
			実施主体の適正化	1 適正である	自治体で行うことが適正である。		
			負担割合の適正化	1 適正である	市が作成しているため。		
1次評価 (課長総括)	【選択してください】	A	計画どおり事業を実施することが適当		2次評価	不要	
後(課題及び今後の方針)	平成27年度は、執筆者を決め、原稿を依頼するまでに至らなかった。平成28年度、早々に執筆者を決め、原稿依頼をする必要がある。				評価結果		